

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市橘リサイクルコミュニティセンター	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 テスコ株式会社 ・代表者名 小林 千尋 ・住所 東京都新宿区信濃町34番地	評価者	減量推進課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	環境局生活環境部減量推進課

2. 事業実績

利用実績	平成26年度総来館者数 15,624名（前年度比749名増） 再利用品展示・提供コーナーの利用者数が前年度と比べて1,211名増加しており、家具類応募者総数も862件増加した。 ※詳細は「橘リサイクルコミュニティセンター別紙資料」参照
収支実績	1 収入 (1)予算額 21,002,543円 【内訳】・指定管理料18,931,371円 ・利用料金収入45,000円 ・その他収入330,172円 ・自主事業収入1,696,000円 (2)決算額 21,726,340円 【内訳】・指定管理料18,931,371円 ・利用料金収入42,600円 ・その他収入213,239円 ・自主事業収入2,539,130円 2 支出 (1)予算額 20,259,543円 【内訳】・事業活動19,306,543円 ・自主事業953,000円 (2)決算額 21,119,726円 【内訳】・事業活動19,578,695円 ・自主事業1,541,031円 ※詳細は「橘リサイクルコミュニティセンター別紙資料」参照
サービス向上の取組	平成26年度は、地元企業協力による環境授業や工作教室の開催、出前授業での分別クイズ実施等に新たに取り組み、好評を得た。季節に合わせたリサイクル家具の展示や、衣類のフリーマーケットコーナーで値引きセールを行うことにより、施設利用者増につながる企画を実施した。また、施設紹介チラシを作成し近隣1万世帯へ配布することで、地域住民への広報を積極的に行った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか	14	4	11.2
		利用者ニーズ等を適切に分析しているか。			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
	事業成果	事業実施における自己評価を行っているか。	8	4	6.4
		当初の事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) 来館者数の多い時期に利用者満足度調査を実施し、幅広い利用者層からの意見を聴取する等、意見・要望の収集方法を工夫している。 事業実施成果の適切な測定をするため、社内モニタリングを実施している。 牛乳パックを利用した紙すき体験学習や廃木材からの木工教室等のリサイクル教室開催、また、自主事業として、常設フリーマーケットやリサイクルバザーを実施することで、環境に対する市民意識の向上を図り、リサイクルに関する啓発を行った。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	11	4	8.8
		支出に見合う事業が行われているか。			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	3	3	1.8
	適切な金銭管理・会計手続	指定管理経費とその他業務に係る経理を区分し、適切に管理しているか。	6	3	3.6
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
	(評価の理由) 指定管理業務に係る収入については、平成26年度予算に対し0.6%少ない約1,919万円であった。利用料金収入、リサイクル・啓発等事業収入、自動販売機・売店経営等収入の全てが平成25年度実績とほぼ横ばいである。自主事業による収入については、平成26年度予算に対し3.4%多い約254万円であった。特に、常設フリーマーケットに関しては、10円セールの実施、アイテム選別・価格見直しにより顧客が増え、平成25年度の収入実績と比較して約38.2%の増加がみられた。 指定管理業務に係る支出については、広報活動強化のため広報・運営活動スキルの高い正社員を採用したことによる人件費の増加や遠距離通勤者の増加に伴う交通費の増加があり、平成26年度予算に対し1.4%多い約1,958万円であった。自主事業に関する支出については、平成26年度予算に対し61.7%多い約154万円であったが、自主事業による収入の増加により川崎市への充当額が増えたためである。				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか。	6	4	4.8
		業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	6	4	4.8
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) リサイクル家具の展示提供については、季節に合わせた展示品の陳列や、家具の利用説明揭示等、展示内容・方法を工夫することで、利用者が楽しめるようなコーナーづくりを行った。衣類のフリーマーケットコーナーでは、種類別、品質別のわかりやすい展示を継続するとともに、値引きセールを行い、利用者増加に向けた企画を実施した。リサイクル教室については、木工教室を「初級」と「中級」に分けて新規受講者が気軽に参加できるようにしたことにより、受講者数増加に繋がった。また、地元企業協力による環境授業や工作教室の開催等、イベント事業の拡大に取り組んだ。課題である「施設の認知度向上」のため、施設の近隣へ施設紹介チラシを1万部作成・配布する等、広報活動を充実させた。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか			
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	6	3	3.6
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	2	3	1.2
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか。	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	3	1.2
(評価の理由) 月例報告会の開催や随時の連絡により、適宜、所管課へ報告を行っている。採用時教育研修、日常教育研修を実施し、担当者のスキルアップが図られている。災害時に迅速かつ的確な対処が行えるよう防災訓練を実施、また、震災等の災害時にリサイクル家具の転倒によるけが防止策として展示品の配置を工夫する等、利用者の安全確保に努めている点が評価できる。個人情報保護等、コンプライアンスの実践に取り組んでいる。グリーン購入や、ごみ分別意識の向上、省エネ対策を行う等、環境に配慮した業務が行われている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	20	3	12
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	植栽管理	植栽等の維持管理を適切に実施しているか。			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由) 施設・設備の保守管理や管理記録の整備・保管が適切に行われ、日常清掃や定期清掃の実施により、施設内の清潔さを保持し快適に利用できる環境を維持している。警備業務、植栽管理についても適正に執行し、施設利用者が安心して快適に過ごせる環境を整備している。また、備品台帳の作成や棚卸しの実施により、備品管理が適切に行われている。				

4. 総合評価

評価点合計	71.4	評価ランク	B
-------	------	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市民による廃棄物の再利用及び再生利用に係る活動への支援並びに廃棄物に係る市民への環境学習を行う施設として、条例、規則等に定められた施設管理・運営、事業運営が適正になされている。 来館者数の多い時期に利用者満足度調査を実施し、幅広い利用者層からの意見を聴取する等、意見・要望の収集方法を工夫している。 「施設の認知度向上」のため、施設の近隣へ施設紹介チラシを1万部作成・配布する等、広報活動を充実させた。 リサイクル家具の展示内容・方法を工夫したり、リサイクル教室の内容を新規受講者が気軽に参加できるようにする等、利用者増加に向けた取組を実施している。また、地元企業協力による環境授業や工作教室の開催等、イベント事業の拡大に取り組んでいる。 自主事業による収入、特に、常設フリーマーケットに関しては、10円セールの実施、アイテム選別・価格見直しにより顧客が増えたことで、平成25年度の収入実績と比較して約38.2%増加している。 全体的に安定した施設管理運営を行い、リサイクルの啓発、利用者サービスの向上に努めていることから、適正な指定管理業務を実施したと評価する。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

リサイクル家具類の展示・提供、リサイクル教室の開催、古布のリサイクル等により、リサイクルの実践や様々な教室の開催、情報提供等を通して、リサイクルへの支援や環境学習を実施し、施設の設置目的に即した運営を行うこと。 平成26年度は、季節に合わせたリサイクル家具の展示やフリーマーケットコーナーの値引きセール、新規受講者獲得に向けたリサイクル教室の内容見直し等、サービスの向上が図れていた。また、地元企業協力による環境授業や工作教室を開催することにより、地域との連携を図れていた。サービスの向上、地域との連携に繋がる取り組みについて、引き続き実施すること。 利用者からの意見を集約し、利用者ニーズや時代の変化を捉え、適宜、事業内容を見直すこと。 施設の認知度向上のため、様々な媒体を活用して広報の拡充を図ること。 今後も利用者の拡大に向けて取り組むとともに、更なる施設の認知度と魅力向上に努めること。

橘リサイクルコミュニティセンター別紙資料

橘リサイクルコミュニティセンター利用者実績（単位：人）

	H26 年度	H25 年度	増減	H24 年度 (参考)
再利用品展示・提供コーナー	13,987	12,776	1,211	12,711
学習室	232	242	△ 10	195
実践コーナー	231	240	△ 9	240
会議室	815	756	59	776
施設見学等	359	861	△ 502	920
合計	15,624	14,875	749	14,842

	H26 年度	H25 年度	増減	H24 年度 (参考)
家具類等出展数	480	480	0	480
家具類入場者数	13,987	12,776	1,211	12,711
家具類応募者総数	5,658	4,796	862	4,130
内 訳	家具類応募者数（来館）	4,235	782	3,543
	家具類応募者数（インターネット）	561	80	587
当選平均倍率	11.8	10.0	1.8	8.6

※当選平均倍率とは、家具類応募者総数を家具類等出展数で除した数値です。

	H26 年度	H25 年度	増減	H24 年度 (参考)
古布類持込量（k g）	9,827	9,744	83	9,646
廃食用油持込量（L）	223	260	△ 37	289

橘リサイクルコミュニティセンター収支決算（単位：円）

		H26 年度予算	H26 年度決算	H25 年度決算	増減額	増減率 (%)	H24 年度決算 (参考)
収入	①事業活動収入	19,306,543	19,187,210	18,221,356	965,854	5.3%	18,372,822
	指定管理料収入	18,931,371	18,931,371	17,964,915	966,456	5.4%	18,055,750
	利用料金収入	45,000	42,600	40,400	2,200	5.4%	39,600
	その他収入	330,172	213,239	216,041	△ 2,802	△1.3%	277,472
	②自主事業収入	1,696,000	2,539,130	1,837,930	701,200	38.2%	1,618,235
	合計 ①+②	21,002,543	21,726,340	20,059,286	1,667,054	8.3%	19,991,057
支出	③事業活動支出	19,306,543	19,578,695	18,055,169	1,523,526	8.4%	19,019,383
	④自主事業支出	953,000	1,541,031	1,081,761	459,270	42.5%	969,976
	合計 ③+④	20,259,543	21,119,726	19,136,930	1,982,796	10.4%	19,989,359
収支差額		743,000	606,614	922,356	△ 315,742	△34.2%	1,698